環境社会報告書 2016







「カワイの森」育成会 浜松市防潮堤市民植栽に参加

2015年11月29日(日)、2016年5月29日(日)







カワイの森育成会は、静岡県と浜松市が浜松市遠州灘海岸で建設中の防潮堤に防災林となるクロマツの「浜松市民植栽」に2015年11月と2016年5月に参加しました。

カワイの森育成会会員の社員をはじめ、そのご家族・知人の方々を含め、各回とも総勢30~40名でクロマツの苗木約120本を植栽しました。当日は、天気もカラッとし、絶好の植栽日和でした。

植栽の前にはカワイ体育教室のインストラクターの指導のもと、入念に準備体操を行って、体をほぐしました。普段は手にすることがない、慣れないつるはしやスコップを使って、石ころ交じりの土手の土に穴を掘るのは苦労しましたが、皆さん協力して手際よくクロマツの苗木を1時間で植えることができました。

今後も「カワイの森」育成会の活動を通じて、地球環境保全意識の啓発と人とのコミュニケーションの活性化を継続してまいります。





編集方針

内容

カワイグループにおける環境活動側面に加え2003年度からはコン プライアンス等社会的側面を掲載し、企業における社会的責任の視点 を充実させ2004年度版からタイトルも「環境報告書」から「環境社 会報告書」に変更いたしました。

なお、経済側面につきましては、概要を5ページに記載しました。 カワイグループの事業内容の詳細はウェブサイトをご参照願います。

対象

お客様、お取引先、従業員、株主・投資家、地元住民・NGO、行政・ 国際機関など多様なステークホルダーの皆様を対象としています。

2016 年版について

出来得る限り各項目ごとに方針(ポリシー)を記述し、皆様にカ ワイグループの取り組みをわかりやすく伝えるように努めました。

事業活動にともなう環境配慮につきまして環境側面ごとにまとめ ました。また、関連資料は資料編にまとめました。

報告対象期間

2015年度(2015年4月~2016年3月)を主体としていますが、 一部重要な事項につきましては2016年4月以降の最新情報を含んで います。

集計方法の見直しなどにより既報データを一部修正し掲載した 項目・数値があります。

報告対象組織

- ㈱ 河合楽器製作所 本社 / 竜洋工場 / 国内営業部門
- ・カワイ精密金属 ㈱
- ・(株) カワイハイパーウッド
- ・(株) カワイ音響システム ・メルヘン楽器(株)

次

はじめに
トップメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
1777767
企業概要
カワイグループの事業と会社の概要・・・・・・・・・・5
経営の理念・行動指針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
カワイグループのあゆみ・・・・・・・・・・・・・7
音楽を通じた支援活動・・・・・・・・・・・・8
環境報告
カワイの環境への取り組み・・・・・・・・・・・・・・・9
地球環境憲章 / 環境方針 / 環境推進組織・・・・・・・・・・・・9
環境経営・・・・・・・・・・・・・・・ 10
2015年度の環境目標と実績 ・・・・・・・・・・・ 10
事業活動に伴う環境配慮・・・・・・・・・ 11
地球温暖化の防止・・・・・・・・ 11
製品の環境負荷 (LCA) ・・・・・・・・・ 12
廃棄物削減・再資源化・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
グリーン調達・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
環境配慮型製品・・・・・・・ 15
ファインアイボリー白鍵、ファインエボニー黒鍵・・・・・・・ 15
省電力型デジタルピアノ・・・・・・・・・・・ 16
環境パフォーマンス・・・・・・・・・・・・・・・ 17
マテリアルバランス・・・・・・・・・・・・・・・ 17
社会性報告
新中期経営計画・・・・・・・・・・・・・・ 18
コーポレート・ガバナンス/コンプライアンス・・・・・・・ 19
コーポレート・ガバナンス 体制/内部統制システム ・・・・・・ 20
リスク管理体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
株主・投資家の皆様とともに・・・・・・・・・・・・・ 22
お客様との関係・・・・・・・・ 23
文化貢献活動・・・・・・・・・・・・ 23
教育事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
カワイ健康づくりシステム・・・・・・・・・・・・ 27
スポーツコミュニティ・・・・・・・・・・・・・・ 28
コミュニケーション・・・・・・・・・・・・・・・ 29
地域社会との共生・・・・・・・・・・・・・・・ 29
地域社会との交流・・・・・・・・・・・・ 30
情報発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
資料編
現代付開 環境負荷サイト別一覧・・・・・・・・・・ 32
okがた PI / 1 I / 1) 見
第三者意見 ・・・・・・・ 33
アンケートのお願い · · · · · · · · 34



トップメッセージ

100年ブランドを目指し、さらに夢の先へ、さらに多くの感動を



このたびの熊本地震において犠牲になられた方々に衷心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

代表取締役会長兼社長

河合弘隆

90 周年を迎えるにあたり

「世界一のピアノをつくりたい」。後に楽器王と呼ばれる 創業者河合小市の熱い思いが当社の夢のはじまりでした。 その後、常に進化したピアノづくりと音楽文化への貢献を 目的として企業活動を続け、社会や産業の構造が大きく変 化し続けるなか、来年創業90周年を迎えるまでとなりまし た。

昨年11月には静岡県浜松市で開催された第9回浜松国際ピアノコンクールにおいて、24名の出場者にカワイフルコンサートピアノSK-EXを演奏していただき、その中でイタリアのアレクサンデル・ガジェヴさんが第1位を獲得しました。多くのピアニストが当社のSK-EXを評価してくださったことは、当社を大いに勇気づけてくれました。

今後も祖業であり経営の原点であるピアノづくりを軸として、歴史と伝統を備えた世界の著名ブランドの仲間入りを果たすため、100年ブランドの確立に向けて邁進してまいります。

新中期経営計画

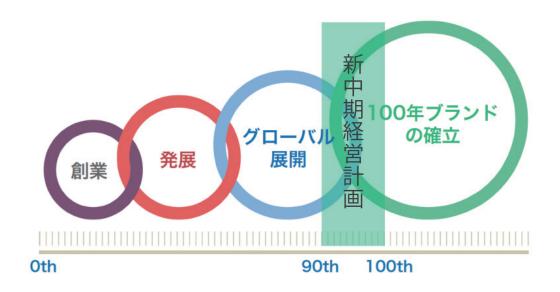
カワイグループは、信頼と革新を追求して、感動体験を提供することでKAWAIのファンを拡大し、また音楽文化の更なる普及に努めることで、次の100年も選ばれつづけるピアノトップブランドを目指すことをビジョンとして、新中期経営計画「Resonate 2018」(2016年度~2018年度)を策定しました。

この計画を達成するために4つの主要戦略「基幹事業の更なる成長への挑戦」「モノづくり改革」「素材加工事業の拡大」「投資と資本政策」と、それを支える2つの基盤づくり「ブランドづくり」「人財育成」を推進してまいります。

特に基幹事業である楽器・教育事業における収益体質の強化とともに、製品の品質向上や将来を見据えたモノづくりを推し進めることにより、企業価値の向上、長期的な安定成長を目指してまいります。

※Resonate(レゾネイト)は「鳴り響く・響き渡る」「共鳴する」 という意味





新中期経営計画の位置づけ 〈100年ブランドの確立へ向けた経営基盤の醸成〉

環境への取組みと社会的責任

多くの企業が、地球温暖化、エネルギー・資源問題などの 地球規模の課題に直面するなかで、カワイグループは、限 りある資源を後世に残すことが大切な責務と認識し、持続 可能な社会の実現、地球環境の保全に向けて積極的に取り 組んでまいりました。

1997年に楽器業界では世界で初めてピアノ生産部門であ る竜洋工場で環境マネジメントシステムISO14001の認証を 取得しました。以後、「カワイ地球環境憲章」と「環境方針」 のもと、国内外の生産拠点に環境マネジメントシステムを 導入してまいりました。今後もグローバルに環境マネジメ ントの取組を強化してまいります。

2007年の創業80周年の記念事業の一つとしてインドネシ アにおいてスタートした植林活動は、地球環境の保全と社 会貢献の観点から現在でも継続しております。また、循環 型社会形成のためにピアノの再生利用などの活動にも継続 して取り組んでおります。

さらに、2015年より東日本大震災の被災地支援として始 めましたチャリティーコンサートと、被災地の海岸防災林 の再生支援活動をカワイの森育成会とともに今後も実施し てまいります。

100年ブランドの確立を目指した挑戦

音楽は、私たちにたくさんの感動を与えてくれます。カワ イグループは創業以来、美しい音楽を耳にしたときの感動、 初めてピアノを手にしたときの喜び、弾けなかった曲が初 めて弾けたときの満足感など、希望にあふれ生き生きとし たシーンを世界中の人々に届けたい、そして、その「感動」 をともに分かち合いたいという思いで企業活動を続けてま いりました。

創業者の夢は大切に受け継がれ、歴史を重ねるなかで 「KAWAI」ブランドとして、世界中の音楽愛好者から揺るぎ ない信頼を獲得するまでに至りました。

これからもこの「感動」という気持ちを大切にし、脈々 と受け継がれた技術の継承と進化を誇りに、100年ブランド の確立に向けて、さらなる挑戦を続けてまいります。

カワイグループの環境・社会面の活動を本報告書にまと めました。是非ご一読いただき、当社の考え方や活動にご 理解をいただき、ご支援と忌憚のないご意見をいただけれ ば幸いです。



企業概要 カワイグループの事業と会社の概要

社 名	株式会社河合楽器製作所
本 社	静岡県浜松市中区寺島町200番地
創立	1927年(昭和 2年)8月 9日
設 立	1951年(昭和26年)5月15日
代表者	代表取締役会長兼社長 河合弘隆
資本金	7,122,881千円(2016年3月末現在)

	年 度	2013	2014	2015
売上高	単独	48,650	49,059	49,654
(百万円)	連結	60,387	66,342	69,258
従業員数	単独	1,414	1,374	1,340
(名)	連結	2,917	2,895	2,868



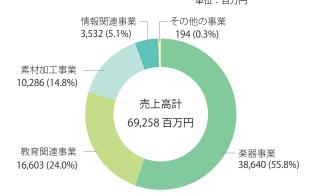
カワイグループの主な事業

楽器事業

ピアノ、電子楽器、管・弦・打楽器、楽器付属品、楽器玩具の販売 及び楽器調律・修理の役務提供業務

- ●国内での販売 ㈱河合楽器製作所 (株)ディアパソン、(株)全音楽譜出版社 他
- 海外での販売 カワイアメリカコーポレーション カワイヨーロッパ GmbH カワイカナダミュージック Ltd. カワイオーストラリア PTY.Ltd. ミディミュージックセンター Inc. PT. カワイミュージックインドネシア 河合貿易(上海)有限公司 カワイ UK Ltd. カワイピアノ・ロシア 海外販売代理店及び商社
- 楽器の調律・修理 ㈱河合楽器製作所 国内統括部
- 楽器の国内での製造 ㈱河合楽器製作所 竜洋工場 ㈱全音楽譜出版社
- 楽器の海外での製造 PT. カワイインドネシア 河合楽器 (寧波)有限公司、上海カワイ電子有限公司
- その他 (株)カワイ友の会、メルヘン楽器(株)

事業セグメント別の売り上げ構成(2015年度連結)





教育関連事業

音楽教室・体育教室の運営、教材販売、楽譜・音楽教育用ソフトの製 造及び販売

- 国内 (株)河合楽器製作所 ㈱全音楽譜出版社
- 海外 PT. カワイミュージックスクールインドネシア

素材加工事業

電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、銑鉄鋳物の製 造及び販売、防音室・音響部材の製造及び販売

● 金属異形圧延加工品の製造

カワイ精密金属(株)

● 自動車部品用材料の製造

㈱カワイハイパーウッド

● 銑鉄鋳物の製造及び販売

(株)カワイキャスティング

● 防音室・音響部材の製造及び販売 (株)カワイ音響システム

情報関連事業

● | T機器の販売・保守及びコンピュータソフトウェアの開発・販売 ㈱カワイビジネスソフトウエア

その他

● 金融関連事業、保険代理店事業 他 (株)カワイアシスト (株)カワイ旅行センター



経営の理念・行動指針

創業以来、私たちはより良い楽器作りと音楽文化への貢献を目的として企業活動を続けてまいりました。社会や産業の構造が 大きく変化し続ける現在において、より幅広く人々の生活文化に貢献してゆくために、カワイは下に記します経営理念及び行動 指針に則り、企業活動を推進してまいります。

経営の理念・行動指針

経営の基本的な 考え方と方向性

カワイの原点は音楽 …

社会貢献

顧客志向性 …

企業倫理

新しい時代への対応 …

持続社会

闊達な企業風土の創造 …

社会的責任

創業以来私たちはより良い楽器作りと音楽文化への貢献を 目的として企業活動を続けてきた。

社会や産業の構造が大きく変化する中で、私たちがより幅広く 人々の生活文化に貢献してゆくため、また新時代にむけて新 しいカワイを創生させるため、ここに新経営の理念を制定する ものである。

経営の理念

創造性豊かな好感度企業を目ざして

快適で豊かな生活環境を創造します お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します 新しい時代に向かって企業活動を推進します 社員を大切にし、明るい企業をめざします

行動指針

現状に満足せず、常に開拓者精神に燃えて

失敗を恐れずアグレッシブに行動しよう 常に向上心を持ち自己研鑽に励もう 豊かな創造性を発揮し、変化する時代に挑戦しよう 自然との共生を大切にし、社会に役立つ活動を積極的に行おう 音楽文化の担い手として、自信と誇りを持って行動しよう

= KAWAI :

カワイグループ全体の 活動の根底をなすもの

積極果敢

自己の向上

挑 戦

地球環境保護活動

継続



カワイグループのあゆみ

-	ALLE	*/1	
黑	¥	**	—
37	ᅏ	/H	-

1927 河合小市 河合楽器研究所を創立 ピアノの製造・販売を開始

1929 河合楽器製作所と改称

1935 合名会社河合楽器製作所と改組

1951 株式会社河合楽器製作所と改組

1955 河合滋 社長に就任

1956 カワイ音楽教室を創設

1961 ピアノ組立工場として舞阪工場完成

1963 アメリカにカワイアメリカコーポレーションを設立

1966 カワイ音楽教室中央講師養成所(カワイ音楽学園)を創設

1967 カワイ体育教室を創設

1976 西ドイツにカワイドイチュランド GmbH を設立

1979 西ドイツにカワイヨーロッパ GmbH を設立

1980 金属圧延加工のカワイ精密金属(株) を設立

グランドピアノ専門工場として竜洋工場完成

1981 オーストラリアにカワイオーストラリア PTY.Ltd. 設立

1984 (株)カワイビジネスソフトウエア設立

1988 アメリカにミディミュージックセンター Inc. を設立

1989 河合弘隆 社長に就任

1991 マレーシアにカワイアジアマニュファクチュアリング SDN.BHD を設立

1996 新経営の理念、行動指針制定

1997 カワイ精密金属(株) 浜松事業所 ISO9002 認証取得

1998 ㈱ カワイハイパーウッド設立

1999 最高級グランドピアノ「Shigeru Kawai シリーズ」発売

2001 インドネシアに PT. カワイインドネシアを設立

最高級フルコンサートピアノ「SK-EX」完成

2002 中国に河合貿易 (上海)有限公司を設立

カワイ倫理規範、倫理行動規準制定

2003 カワイ精密金属㈱浜松事業所 ISO9001 認証取得

2004 カワイ精密金属(株) ISO9001 認証を全社に拡大 中国に河合楽器 (寧波)有限公司を設立

2005 竜洋工場 ISO9001 認証取得

2006 アコースティックピアノの塗装を行う PT. カワイインドネシア第2工場設置

旗艦店「カワイ表参道」リニューアルオープン

2007 電子楽器組立を行う PT. カワイインドネシア第 3 工場設置

中国上海市内にカワイ音楽教室第1号教室開設

2008 河合楽器 (寧波)有限公司 ISO9001 認証取得

PT. カワイインドネシア第3工場 ISO9001 認証取得

2009 国内ピアノ生産工程を音洋工場に統合

PT. カワイインドネシア第 1・第 2 工場 ISO9001 認証取得

カワイ精密金属㈱浜松工場の建物増設

2011 インドネシアに PT. カワイミュージックインドネシアを設立

2012 最高級グランドピアノ「Shigeru Kawai シリーズ」モデルチェンジ

フルコンサートグランドピアノ「EX-L」発売

中国に上海カワイ電子有限公司を設立 2013 旗艦店「カワイ梅田」リニューアルオープン

石川県羽咋市に(株)カワイキャスティング設立

グランドピアノ GX シリーズ発売

2014 北海道エリアに「カワイ札幌」リニューアルオープン

アップライトピアノ新 K シリーズ発売 (株)全音楽譜出版社を子会社化 ロシア モスクワ市にカワイピアノ・ロシアを設立

2015 ㈱学研ホールディングスと業務提携

米国テキサス州ヒューストンに海外直営ショップ第1号店をオープン

境 社 会 活

1920

1950

1970

1975 生産技術部内に公害課設置 カワイの環境元年

1978 生産本部 環境管理課に改めグループ全体の管理をスタート

1980 『森の中の緑の工房』竜洋工場完成

1990

2000

1980

公

害

防

止

全

1994 地球環境憲章制定 シンボルマーク決定

全社的な推進組織の地球環境委員会発足

1996 環境推進室 に名称変更

1997 竜洋工場で ISO14001 認証取得 楽器業界で世界初

舞阪工場「静岡県労働基準局長 優良賞」受賞

保 1998 舞阪工場で ISO14001 認証取得

竜洋工場「エネルギー管理優良工場」として中部通商産業局長表彰

2001 タイプⅢ環境ラベル「製品環境宣言」JEMAI 開示

舞阪工場「危険物優良事業所」表彰

2003 工場統廃合によるインフラの整備 木屑ボイラーの廃止

2005 竜洋工場が緑化優良工場として日本緑化センター会長奨励賞 受賞

2006 河合楽器が静岡県緑化推進協会から「緑の募金」の感謝状

木材調達ガイドラインの開示

2007(株) カワイハイパーウッドでエコアクション 21 認証取得

「カワイの森」インドネシア植林事業開始

2008 産業廃棄物適正処理推進功労者に対する静岡県知事褒賞 受賞

境 経 2010

環

営 2010 メルヘン楽器(株) でエコアクション 21 認証取得

河合弘隆社長ポーランド共和国コマンドール十字勲章授与

2011 PT. カワイインドネシア第 1・第 2 工場で ISO14001 認証取得

CS 環境室に名称変更

2012 カワイ精密金属㈱でエコアクション 21 認証取得

河合楽器 (寧波)有限公司で ISO14001 認証取得

2013 JR 浜松駅前看板を LED 方式による、カーボンオフセットサインと して25年振りに一新

はままつ広告景観賞かんばん部門受賞

「カワイの森」インドネシア植林 第 2 期植林活動開始 (2013 ~ 2017)

2015 カワイ精密金属㈱で ISO14001 認証取得

東北復興支援「カワイの森」東松島市で植樹活動

2016「カワイの森」 東松島市浜市地区で植樹活動

浜松市防潮堤植栽活動

音楽を通じた支援活動



カワイグループは、楽器メーカーとして 音楽や楽器を通じて、様々な支援活動に取り組んでいます

東日本大震災の被災地への継続的支援活動

被災地植樹支援チャリティーコンサート 2016

東日本大震災から5年が経ちましたが、復興にはまだ時間がかか ります。

カワイグループは、震災後継続して音楽を通じた支援活動をし ています。2016年3月11日に、仙台・東京・横浜・名古屋・大阪 の5会場で同時に『東日本大震災 被災地植樹支援チャリティーコン サート2016』を開催しました。カワイ表参道でのチャリティーコ ンサートは今回で12回目となりました。黙祷に始まりコンサート の主旨や皆様へ感謝の言葉を伝えました。それぞれの地元の第一線 でご活躍されている演奏者の方々にご出演の協力をいただき、5会 場とも満席で合計470名ほどのお客様にお集まりいただきました。

各会場とも犠牲者となられた方々のご冥福と復興への祈りを込 めての演奏となりました。「震災当時、たくさんの外国の方々から 励ましの言葉を受け泣いていてはいけない。音楽を通じて被災地 を励ますことが自分にとってできることだ」と心を奮い立たせた と当時を思い出し話してくださる演奏家の方もいました。会場に

は涙を浮かべるお客様もあり被災地への温かな想いを共有したコ ンサートとなりました。

仙台会場では、今年も、最後に全員で『ふるさと』を合唱し、 全体がひとつになりました。他の4会場でも、アンコールやカーテ ンコールで満場の拍手をいただきました。

2016年は、4月29日にドイツ、デュッセルドルフでも被災地の ためのチャリティーコンサートが開催されました。2月11日にはタ イ人ピアニストプーム・プロマチャート氏による仙台チャリティー コンサートが催されました。今年のチャリティーコンサートは国 境を越えたグローバルな「音楽を通した支援活動」で、音楽の素 晴らしさを再確認できたチャリティーコンサートになりました。

皆様からお預かりしました寄付金とコンサートの収益金553,133 円はカワイの森育成会を通じて被災地の植樹に役立たせていただ きました。カワイグループは、今後も音楽を通じて被災地の方々 の心に届く復興支援活動を継続してまいります。











被災地の海岸防災林再生支援のための「カワイの森」植樹活動

2016年5月14日 宮城県東松島市浜市地区での植樹活動

海岸防災林再生のための「カワイの森」は、東日本大震災の津波により流失 した海岸防災林の再生をめざす林野庁の「『みどりのきずな』再生プロジェク ト」に参画した活動で、宮城北部森林管理署とカワイの森育成会とが協定を締 結して植栽から保育までを継続的に取り組む復興支援活動です。

今回の植樹会は3月11日に全国5か所同時開催の「被災地植樹支援チャリ ティーコンサート2016」をはじめ国境を越えた「音楽を通した支援活動」で お寄せいただきました寄付金と収益金、カワイの森育成会の会費をもとに実施 されました。

植樹会当日には、宮城県内のカワイ音楽教室・カワイ体育教室 の生徒さん や保護者の皆さん、宮城北部森林管理署の方々、約70名にご参加いただき、 500 本のクロマツの苗木を植樹しました。今回の植樹会は昨年に続き2回目で したので、昨年以上の盛り上がりでチャリティーコンサートの想いが植樹に繋 がっていると実感できました。日常では経験できない素晴らしい体験の機会に なったといった声を聞くことができました。

また、植樹会前日の5月13日には、2015年に植樹した東松島市矢本地区の「カ ワイの森」を訪ねました。ほぼ順調にクロマツが育成している状況も確認し、 引き続き海岸防災林再生支援に熱い想いを抱きました。









環境報告 カワイの環境への取り組み

カワイ地球環境憲章に定める基本理念と行動指針に基づいて 環境保全活動を展開しています

地球環境憲章 / 環境方針 / 環境推進組織

地球環境憲章



カワイグループは、すばらしい地 球環境を後世に伝えるためには、総 合的かつ継続的な取り組みが必要で あると認識しています。

世界の良き企業市民として環境の 保全に努めつつ、人と地球にやさし い優れた商品を通じて社会からの信 頼と共感を得ることができる道を進 むために「地球環境憲章」を1994年 に制定しました。

環境方針



必要な資源の調達・購入に際しては、より環境負責の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入します。(グリーン関連)

環境に関連する法規制を遵守するとともに、その他の要求事項を考慮して自主的 な基準を設け、環境管理レベルの向上に努めます。

環境教育を通じ、全社員の意識向上を図るとともに、一人ひとりが広く社会に 目を向け、日常業務や日常生活の中で自主的な貢献活動ができるよう啓蒙と 支援を行います。

この環境方針を達成するため、環境管理担当役員を総括責任者とした環境管理の 銀銭、遅割制度を整備し、目標・計画・施策・責任を明確にして環境保全活動を 原間にます。

カワイ地球環境委員会では「地 球環境憲章」を受け「環境方針」 を制定しています。《有益な環境 側面の発掘》《地球温暖化防止》《資 源循環活用》《資源有効活用》《グ リーン調達》等の推進に全社一丸 となって邁進しています。詳細は ウェブサイトをご覧ください。

http://www2.kawai.co.jp/company/activity/pdf/kp_20040127.pdf

環境推進組織

環境経営を推進する組織として、1994年に環境担当役員を委員長とする地球環境委員会を 設置し、環境保全に関する全社環境方針や目標を設定し活動しています。毎年環境月間の6月 を中心に各サイトの昨年度実績及び当年度の目標を報告する全体会議を開催しております。

環境監查

カワイでは、環境マネジメントシステムで要求されている継続的改善のPDCA サイクル(計 画・実行・検証・対応の繰り返し) をまわすため、定期的に「外部審査」「内部環境監査」を 実施しています。

外部審查

認証取得サイトでは、認証機関による毎年のサーベランス審査および定期毎の更新審査に おいて、環境マネジメントシステムが有効に機能していることの審査を受けています。

〈環境マネジメントシステム(EMS)〉

事業者が自主的に環境保全に関する取り組みを進めるに当たり、環境に関する方針や目標等を自ら設定 し、これらの達成に向けて取り組んでいくシステム。国際規格のISO14001、環境省が策定したエコアクショ ン21 などがあります。

社 長 地球環境委員会 委員長:環境担当役員 専門部会 事務局:総務人事部 温暖化防止WG 廃棄物削減WG 環境順法WG CS環境室 グリーン調達WG ·精密金属環境組織 ISO : ISO14001 ISO : ISO9001 :エコアクション21 ISO ISO ECO EMS運用 地球温暖化防止 廃棄物削減 00 化学物質管理

高濃度 PCB 廃棄物の処理

河合楽器製作所本社、研修センター、竜洋工場、カワイハイパーウッドに保管していました高濃度PCB 廃棄物34台をJESCO(中間貯蔵・環境安全事業株式会社 JAPAN ENVIRONMENTAL STORAGE & SAFETY CORPORATION)の豊田事業所に委託して適切に処理しました。







高濃度 PCB 廃棄物の搬出

PCB 廢棄物処理台数

保管事業所 台 数		数	
河合	本社	18	
河合楽器製作所	竜洋工場	12	31
作所	研修センター	1	
カワ	フイハイパーウッド	3	3
合計 34		4	

環境経営



CO₂ 排出量・廃棄物排出量の削減に取り組んでいます

2015 年度の環境目標と実績

2013年度から2015年度の3ヶ年計画・目標

地球環境委員会ではCO₂排出量及び廃棄物量といった環境負荷の 低減に向けて2013年度から2015年度までの3か年計画を策定し、目 標を定めて取り組んでまいりました。

本3か年計画における環境目標は、CO₂排出量と廃棄物排出量に ついて売上高100万円当たりの原単位で2012年度を基準年として毎 年1%づつ削減することと設定いたしました。

環境目標 (2013 年	丰度~ 2015 年度)	基準年:2012年度
地球温暖化の防止	CO ₂ 排出量	毎年 1%削減(原単位)
資源の循環活用	廃棄物量	毎年 1%削減(原単位)

2015年度の実績

各事業所の環境組織では、活動の主な目的・目標として「生産効 率の向上」「不良率の低減」「資源の有効活用」などを掲げて環境マ ネジメントシステムの推進に取り組んでまいりました。

2015年度の実績はCO₂排出量原単位で2012年度比-24.2%と目標 値(-3%)を達成できました。また、廃棄物排出量原単位に関しまし ても2012年度比-21.9%と減少し、目標値(-3%)を達成しました。

	指標 2012年度 2013年度 2014年度 2015年度						
	指標	実 績	実 績	実 績	実 績	増 減	評価
地球温暖	CO ₂ 排出量原単位 (kg-CO ₂ /百万円)	296	278	245	225	-24.2%	0
化防止	エネルギー量原単位 (MJ/百万円)	6,156	5,808	5,216	4,884	-20.7%	0
資源有	廃棄物排出量 (総量) (ton)	992	998	924	981	-1.1%	×
有効活用	廃棄物排出量原単位 (kg/百万円)	181	16.5	13.9	14.2	-21.9%	0

評価 ◎:達成 ×:未達成

環境経営指標

CO₂ 排出量の集計につきましては、2009年度までカワイグループ内の国内生産拠点および主要支社のCO₂排出量を集計し、 全売上高で除した指標(原単位)を用いてきましたが、2010年度からは改正省エネ法に対応するために国内生産拠点および全て の営業所・音楽教室を含めたカワイグループ全体のCO₂排出量を集計して、原単位を算出しております。

産業廃棄物の排出量の総量は、2012年度に対して1.1%減少しましたが、前年の2014年度に対して6.2%増加しました。しか し、排出量原単位では、2012年度に対して21.9%削減され、環境目標を大幅に上回って達成しました。これは、竜洋工場での 徹底した資源の有効活用やカワイ精密金属の廃棄物の有価物化への取組みなどの廃棄物削減の努力によるものです。今後も廃 棄物の削減、資源の有効活用を重点課題として継続して検討を進めてまいります。

CO。排出量原单位



産業廃棄物排出量 ton 1.200 800 400 2012 2013



事業活動に伴う環境配慮

CO₂ 排出量の削減と CO₂ 吸収の取り組み

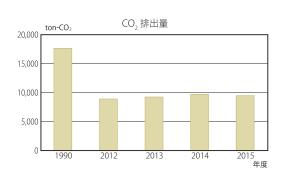
地球温暖化の防止

地球温暖化防止の取り組み (CO₂ 排出量削減)

カワイグループでは地球温暖化防止を環境経営の重点項目と位置づけ、工場やオフィスのエネルギー使用による CO_2 の排出や物流による CO_2 の排出の削減に取り組んでいます。

工場の統廃合や海外進出に伴い、生産系事業所のCO₂排出量は京都議定書の基準年である1990年度に比べて大幅に削減されて推移しています。2015年度は1990年に比較すると46%の削減となり、京都議定書の日本の目標値6%削減に対して大幅な削減を達成しています。なお、1990年当時の支社・営業所・音楽教室のCO₂排出量の比較では、2015年度は1990年度に比較して、約27%の削減と推定しております。

省エネ法(「エネルギー使用の合理化等に関する法律」)は、一定以上のエネルギーを使用している会社はエネルギー使用量の実績や中長期の省エネ計画を届け出なければならないことを規定しています。カワイグループの工場ではピアノ製造を行っている竜洋工場と鋳物製造の株式会社カワイキャスティングの2工場が第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。自主的にCO₂削減計画を策



定し、CO₂削減に取り組んでいます。

オフィスにおきましては例年どおり夏期には「ノーネクタイ」「ノー上着」活動とともに、冷房設定温度を上げる「クールビズ」運動を、冬期には暖房設定温度を20℃以下に保つ「ウォームビズ」運動を展開しています。

CO₂の吸収活動(植林活動)の推進

「森の中の緑の工房」竜洋工場

カワイは、1980年に「森の中の緑の工房」を目指して竜洋工場を建設しました。当初に工場周辺や構内に植えた約20,000本とその後の植樹により、現在では約26,000本の規模となりました。グラウンドを含めると工場敷地の約50%が緑地となっており、35年の歳月を経て「森の中の緑の工房」の名にふさわしい工場となりました。なお、2005年にはこの活動が評価され、緑化優良工場として(一財)日本緑化センター会長奨励賞を受賞致しました。



海外植林活動 インドネシアの「カワイの森」

2007年からインドネシアにおいて、 CO_2 吸収源の確保、樹木が伐採された土地に森林を再生すること、将来の木材資源の確保を目指してカワイグループ従業員の寄付による「カワイの森」植林活動を行っております。

2012年度までの第1期に約250ha、植林本数約30万本、成育本数24万本の規模の植林を達成しました。2013年から始まった第2期では150haに約17万本の植林を実施しました。

2007年から2015年までの9年間で400haに、植林本数約47万本、 生育本数40万本余の植林を実施しました。





【2010 ~ 2013年植林「カワイの森」の現状】

これは年間6,200トンの CO_2 吸収効果があり、竜洋工場における生産活動にともなって発生する CO_2 の約1.6倍の量にあたる CO_2 を吸収する効果があると試算しています。

2015年度は、西ジャワ州の50haにチークとパインを55,000本植林しました。毎年、植林に際しては、PT.カワイインドネシアとインドネシア森林公社とが契約書を交わし現地の人たちも交えて植林セレモニーを開催しています。長年の植林活動に対して西ジャワ州管区の森林公社より2015年9月28日に感謝状が贈られました。



【2015年度の植林】



主な製品の環境負荷の評価と節電活動

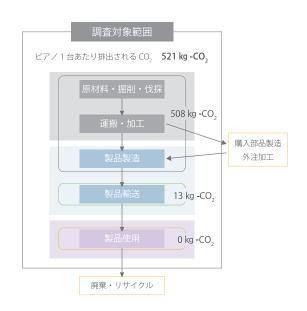
製品の環境負荷(LCA)

製品をつくるための資源の採取から部品、製品を作る過程で排出されるCO₂及び製品を使用し、廃棄されるまでに排出されるCO₂の量をカワイの主な製品のグランドピアノ(GX-3)について行なった結果は右図のとおりです。

ピアノは、一般の電化製品、自動車等と異なり製品の使用時に排出される CO_2 はありません。また、製品寿命は一般的に数十年と長く、製造までの CO_2 排出量が製品寿命の総 CO_2 排出量と考えることが出来ます。

LCA 評価方法

- * LCA 算定には、社団法人 産業環境管理協会のライフサイクル アセスメント実施ソフト「JEMAI-LCA Pro」を用いました。
- * 製品の廃棄について ピアノの寿命は数十年のため算出から除外しました。
- * 購入部品及び外注先での加工製造・輸送については含まれていません。
- *製品輸送は磐田市(竜洋工場)→東京間を用いています。



LCA: Life Cycle Assessment の略。

製品の原材料の調達から製造、輸送、使用、廃棄までのライフサイクル全体を通して、環境に及ぼす各種の環境負荷を定量的に評価する手法。

夏の節電活動

カワイグループでは、夏の期間中に節電活動を実施しております。

とくに東日本大震災が発生した2011年度は節電目標を前年比15% 削減として取り組み、カワイグループ全体の電力使用量を11%削減し ました。

以後、毎年、社内向け、お客様向けの省エネ活動のポスターを作成 し、生産部門から営業部門ともに広く理解をいただきながら省エネの 啓発活動に取り組んでいます。

2016年度も継続して節電活動に取り組んでまいります。





【2015年:お客様向節電ポスター 社内向節電ポスター】

節電活動:竜洋工場の LED 照明導入による節電活動と、フロン排出抑制法対応

ピアノの主力生産工場である竜洋工場の蛍光灯照明を全面的にLED照明にしました。竜洋工場は「森の中の緑の工房」として1980年の建設時から環境に配慮してきた工場です。LED照明に更新することによって照度がアップし、照明の設置台数を減らすことができ、電力使用量の削減、

メンテナンス工数の削減が図れました。また、水銀灯についても2020年の水銀灯製造中止に鑑み計画的に環境問題を配慮して更新を図っております。

また、フロン排出抑制法が2015年に施行されましたが、空調設備について適正に点検を行うとともに、オゾン層破壊効果のある特定フロンを使用した古い機種から代替フロンを使用し、省エネ効果も大きい機種への更新を計画的に進めています。







資源循環型社会のための活動を行っています

廃棄物削減・再資源化

廃棄物の再資源化の取り組み

廃棄物については排出量の削減とともに徹底した分別による再資源 化を図ることが重要な使命と認識して取り組んでいます。

竜洋工場ではピアノ製造の過程で排出される木くず等の処分に使用していた木くずボイラーを大気汚染防止やダイオキシン対策特別措置法の順守を目的に2003年に廃止しました。このため、ボイラー燃料としてサーマルリサイクルされていた木屑や木粉により廃棄物排出量が大幅に増加しました。その後、ピアノ製造の外注工程の竜洋工場内への引入れにともなう廃棄物の増加がありましたが、歩留の向上など廃棄物の排出量の抑制を徹底して取り組み、廃棄物排出量を削減してまいりました。

カワイグループ全体の2015年度の廃棄物排出量は、環境3ヶ年計画の2012年の基準年に対して-1.1%でしたが、前年比では生産活動の増加の影響により、6%の増加でした。

再資源化につきましては、竜洋工場から排出される木くず等は全て 再資源化(製紙原料、ボード原料、堆肥用、燃料用他)し、フェルトな どは堆肥化するなど環境負荷の低減に役立つように再資源化の取り組 みを行なっています。

カワイグループ全体の再資源化率は、2011年度の89.4%から2012年度に96.0%に上昇し、さらに2015年度は99.7%(前年比+5.3%)を達成しております。

今後も廃棄物の再利用、再資源化を検討し、再資源化率の向上を目 指します。

リサイクル・リユースの取り組み

拡大生産者責任を踏まえて、循環型社会形成推進のため、ピアノの 再生利用と再使用(リユース)を推進するために(株)ピアノリサイクルを 1998年に設立しました。現在では竜洋工場内のリサイクルグループが 本事業を担当しています。

また、日本国内の営業拠点においても、下取りしたピアノを再生し、 新たなお客様のもとへお届けしています。

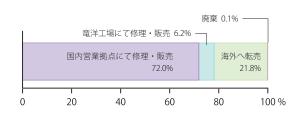
2015年度には約1,000台のピアノが再生、リユースされました。そのうち、21.8%は輸出され、世界の各地で使われています。





廃棄物の再利用 (竜洋工場)

下取りしたピアノの再生リユース (2015年)



メーカーによるピアノ再生

メーカーだからできる仕事があります。ピアノづくりに精通した経験豊かな専任技術者が、古いピアノでも全面オーバーホールすることが可能です。弦・ハンマー・アクションの交換から全面塗装までお客様のニーズに応じたピアノ再生を行っています。再生は、ピアノづくり80年を超える製造部門で長年の経験をもち、塗装技術、木工技術、調律技術など、その道の専門家がそれぞれ担当しています。その仕上がりは、多くのお客様から大変好評をいただいています。また、カワイピアノなら純正パーツによる修理・再生も可能で、これも大きな魅力となっています。





持続可能な原材料・資源の調達を推進しています

グリーン調達

カワイグループでは必要な資源の調達・購入に際して、カワイ地球環境委員会の定める「環境方針」に 基づき、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入する『グリーン調達』にカワイグ ループ全体で積極的に取り組んでいます。

グリーン購入法やグリーン購入ネットワーク(GPN)の基本原則に準じたグリーン調達を推進し、環 境負荷を総合的に低減し、生物多様性の保全や循環型社会構築に積極的かつ継続的に貢献するよう活 動しています。

グリーン調達に関しては、このほかに調達基本方針や適用範囲、調達基準ガイドライン等を定めて います。また、このガイドラインに基づいて文具類等の調達ガイドラインも別に策定しています。

- ・環境汚染物質への配慮、省資源、省エネルギー
- ・リサイクル可能性、再生材料等の利用
- ・天然資源への配慮、長期使用性、リユース可能性・処理処分の容易性

サプライヤー選定時の配慮事項も次のように定め、購買部門よりお取引先に対し対応をお願いして います。

・梱包材についても環境に配慮していること

カワイ グリーン調達ガイドライン

適用する基準は別に定め、これに適合する商品を認定品とする。 特定商品の何:用紙、文具、コンピュータ等機器製、作業者、序刷物 など

n |に取り組んでいる事業者を選定評価する。 システム(EMSの種別は関わない)を構築し遅用

○本本のはおりの第三点 はおける第三点 無限が向から指さ、他の中国を使用さる情報については無限のに入中・4。 を有き加いでいてはは記念を使用させる。 作者が加いでいては記念を使用させる。 またが、これでいる。 は同年の。 無限をおけるに見まし、必要に応じて必まする。

・環境情報を積極的に公開していること

- ・環境マネジメントシステムを構築し運用していること
- ・省資源、省エネ、化学物質管理、グリーン購入等への取組がなされていること

木材の調達

ピアノの心臓部ともいわれる響板には厳選された アラスカのスプルースが使われます。樹齢150~ 400年、高さが60mにも達する針葉樹の大木です。 ピアノの響板には地上6~20mの部分で木目がまっ すぐかつ「ふし」のない部分しか使えません。

高品質で貴重な木材を多く使用する楽器メーカー として、木材を生み出す森林の保護、育成、保全は 特に重要と考え、生物多様性の保全に配慮した木材 の調達に取り組んでいます。



スプルース (マツ科トウヒ属)の断面 ピアノ響板に使用、樹齢 250~260年

木材調達ガイドライン(2006年6月開示)

2006 年に持続可能な資源である木材の調達におけるカワイのポリシーを明文化 しました。

基本理念

カワイは、木を大切にし、保護・育成された森からの持 続可能な資源である木材を、有効活用する、木材のグリー ン調達を推進する。

基本方針

- 1. カワイは、持続可能な森林経営が営まれている森林 から産出された木材を優先して調達する。
- 2. カワイは、木材調達において、森林を保全・保護・ 再生するという環境対策の推進や順法に配慮する。
- 3. カワイは、調達した木材の適切かつ効率的な利用を 推進する。
- 4. カワイは、再生材で生産された製品を優先して調達
- 5. カワイは、森林認証林産物を優先して調達する。





環境配慮型製品

環境に配慮したピアノ

ファインアイボリー白鍵、ファインエボニー黒鍵

ピアノの鍵盤の素材は、白鍵には象牙、黒鍵には黒檀が最良とされ、古くから使われてきました。

しかし 1980年代に入ると野生動植物の保護意識が世界的に高まり、代替素材が求められるようになりました。カワイは他に先駆けて、植物性樹脂を主原料とする、まったく新しい独自の鍵盤素材を1988年に開発しました。

それが、数々の優れた特長、機能を持つ"ファインアイボリー"(人工象牙)と"ファインエボニー" (人工黒檀)です。

ピアニストからの評価は時とともに高まり、現在では新時代の鍵盤素材として高い評価が定着しています。



環境配慮型アコースティックピアノ

消音ピアノ「ANYTIME X (エニィタイム エックス)」シリーズを2014 年 7 月 4 日に発売しました。「ANYTIME X」シリーズは、夜間など音を出せないときにデジタル音源に切り替えて演奏を楽しむことができるピアノです。

「ANYTIME X2」はタッチ感を向上させたハンマー検出型センサー「インテグレーテッドハンマーセンシングシステム(IHSS)」をはじめ、響板スピーカーシステムやスライド式スイッチパネル、最新型デジタル音源の搭載など、消音ピアノの枠を超えたハイブリッドピアノとしてさらに進化しました。







ANYTIME X 2 Hybrid

インテグレーテッドハンマーセンシングシステム (IHSS)

響板スピーカーシステム

「4 畳半に設置可能な本格的なグランドピアノ」GL シリーズ 誕生 (国内 2015 年 9 月 5 日発売)

ピアノは木材を適材適所で有効に活用している優れた環境商品といえますが、カワイでは物性測定による選別を 行うことで、木材の落とし(廃棄)を極力減らし、限りある木材を有効利用する努力を継続しています。

そしてカワイグランドピアノのフィロソフィを受け継いだ普及価格帯のグランドピアノ『GLシリーズ』を2015年9月に発売しました。

最小モデルのGL-10は、省スペース・低価格ですが、音もタッチも本格派です。コンパクトサイズながらもフルコンサートグランドピアノのような驚くほど軽快なタッチ感と立体感のある響きを実現し、広い部屋がなくても、心に響くサウンドを楽しむことができます。



第 9 回浜松国際ピアノコンクールでカワイフルコンサートピアノ SK-EX を弾いた アレクサンデル・ガジェヴさんが優勝



2015 年 11 月 21 日~ 12 月 8 日の期間で静岡県浜松市で開催された第 9 回浜松国際ピアノコンクール において、アレクサンデル・ガジェヴさん(イタリア)がカワイフルコンサートピアノ SK-EX を弾いて 優勝いたしました。そのほか第 3 位のアレクセイ・メリニコフさん、第 4 位と室内楽賞のフロリアン・ミトレアさん、奨励賞の三浦謙司さんが SK-EX を弾いて入賞しました。ガジェヴさんは、SK-EX は音色 が豊かで自分の音の広がりを聴衆に聴いてもらうために SK-EX を選んだとのことです。

浜松国際ピアノコンクールは、1991 年に浜松市制 80 周年を記念して、楽器と音楽のまちとしての歴史と伝統を誇るにふさわしい国際的文化事業としてスタートし、以後 3 年毎に開催しています。世界を目指す多くの若いピアニストに日頃の研鑽の成果を披露する場の提供と彼らの育成、世界の音楽文化の振興、国際交流の推進を目的としています。カワイは第1回より公式ピアノとして参加しております。1994 年の第2回コンクールでは、カワイ EX を弾いたヴィクトル・リャードフさんが優勝しています。



環境に配慮したデジタルピアノ

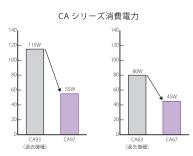
省電力型デジタルピアノ CA シリーズ、CN シリーズ

当社デジタルピアノの最新モデルは、デジタルアンプの採用など、システム全体を見直すことにより『CA97』では約 50%、『CA67』は約 45%、『CN25』は約60%、『CN35』は約35%(いずれも当社過去機種比)の省電力化を実現しています。オートパワーオフ機能も搭載しており省 エネを実現した環境に優しいデジタルピアノです。

目指したのはグランドピアノの性能 Concert Artist シリーズ 『CA97』 『CA67』

"Concert Artist"シリーズは、その名のとおりアーティストが使用 するコンサートグランドピアノを目標として開発したカワイデジタル ピアノのトップブランドです。

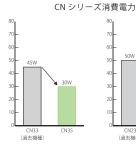
CA97 - プレミアムブラックサテン調

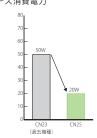


表現力を大幅に向上したデジタルピアノ **CN35 CN25**

入門者向けのデジタルピアノ「CNシリーズ」は、ピアノとしての 充実した基本性能を兼ね備えながらも、お求めやすい価格を実現し ました。







オートパワーオフ機能搭載デジタルピアノ ES8

2015 年9 月に発売されたポータブルタイプの電子ピアノES8 は、何も動作して いない状態が一定時間続いたときに、自動で電源が切れるオートパワーオフ機能 を内蔵しています。

フルコンサートピアノ「SK-EX」サウンド、新型鍵盤を搭載した本格性能



自然で迫力ある響きを放つスピーカーシステム

スタイリッシュ、コンパクトでありな がら優れた鍵盤タッチと高性能な音源、ス ピーカーを搭載。外観の質感も高い塗装仕 上げを採用したポータブル電子ピアノで



ES8 - スノーホワイト

デジタルピアノ「CA97」「CA67」がMusic Inc 2015 "Product Excellence Award"を受賞

米国の楽器販売店の投票により選ばれる賞である、Music Inc主催のMusic Inc 2015 "Product Excellence Award"を、カワイのCA97、CA67が受賞しました。また、 それぞれのカテゴリーで高い評価を受け複数年にわたり受賞した商品に贈られる "MMR Legacy Award"をCA97の前身のモデルCA95が受賞しました。見る目が厳し い米国の販売店から選ばれたことは、グランドピアノの感触を再現するために搭 載された多くの技術のクオリティーの高さを証明しています。







環境パフォーマンス

企業活動による環境負荷を数値で把握することが 環境活動の第一歩と考えています

マテリアルバランス

カワイグループでは、事業活動にともなって発生する環境負荷を把握し、その及ぼす影響を軽減するために開発・設計・調達・製造から輸送、 さらにお客様が製品を使用・リサイクル・廃棄に至るまでの各段階の資源・エネルギーの使用量やその他の環境負荷についてデータ集計を行なっ ております。

2015年度におけるエネルギー、化学物質、資源などの投入量とCO2、排水、化学物質、廃棄物などの排出量は、下記のとおりです。今後もデー タ把握の対象を広げ環境負荷の低減に取り組みます。

エネルギー	(GJ)
総 計	201,372
電力	178,918
A重油	8,019
LPG	15,878
灯油	3,225

水(千r	ท์)
総計	247
井水	77
水道水	116
工業用水	54

化学物質	(ton)
93	

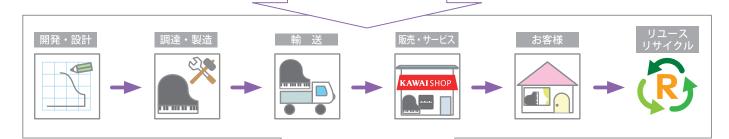
燃料 (GJ))
ガソリン	630
軽油	1,652

	(kg)	容器包装
4,447		紙
6,638		プラスチック

ピアノの演奏は人力のた め、使用段階でのエネルギー は0と評価しました。

また、電子ピアノ・オルガ ンについては演奏時間等の 設定が困難なため、対象から 外しました。

エネルギー (GJ)



温室効果ガス (ton-CO ₂)							
CO ₂	9,473						

排水 (千㎡)	198
化学物質	(ton)
排出量	31
移動量	6

廃棄物 (ton)							
総排出量	903						
焼却・埋立	18						
再資源化	885						

温室効果ガス	(ton-CO ₂)
CO ₂	270

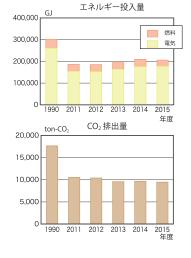
容器包装 (kg) 1,208

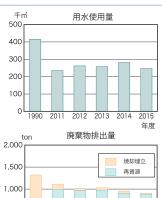
温室効果ガス (ton-CO₂) CO_2 アコースティックピアノ の使用段階における排出は 0と推定しました。

また、電子楽器について は INPUT 同様の考えから対 象から外しました。

INPUT











社会性報告新中期経営計画



新中期経営計画(2016年度~2018年度)の概要

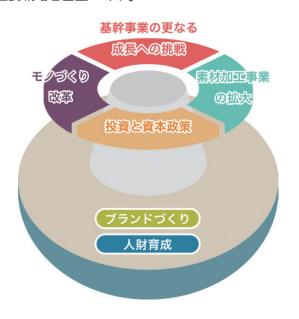
2016年度から2018年度の新中期経営計画がスタートしました。祖業であり、経営の原点でありますピアノづくりを軸として、歴史と伝統を備えた世界の著名ブランドの仲間入りを果たすため、100年ブランドの確立に向けて邁進してまいります。

【将来ビジョン】

Resonate 2018 -100周年へ向けて- トップブランドであるために

- 100年ブランドへ向けたロードマップ
- ●目標達成のための課題

【主要戦略と基盤づくり】





- 企業価値向上を目出し長期的成長の実現を目指す
- 目標達成のために

〈主要戦略〉

① 基幹事業の更なる成長への挑戦

楽器・教育事業での収益体質の強化

- 国内市場における高付加価値戦略
- 海外市場におけるエリア戦略

② モノづくり改革

品質向上と将来を見据えたモノづくり

- ■「ピアノという革新」の更なる深化
- ■デジタルピアノの新たな挑戦

③ 素材加工事業の拡大

受注拡大・新規開拓

■ 素材加工事業の更なる展開

④ 投資と資本政策

資本効率向上

- 成長分野や基幹事業強化に向けた設備投資の集中
- 株主還元の強化と資本効率の向上

〈基盤づくり〉

⑤ ブランドづくり

お客様と共に感動をつくる取り組み

- 選ばれ続けるブランドに
- 音楽文化普及への貢献

⑥ 人財育成

将来を見据えた人財育成

- ■人材の専門性・多様性の強化
- ■トップブランドであるためのマインド改革

新中期経営計画(2016年度~ 2018年度: 2017年3月期~ 2019年3月期)の詳細は次のアドレスでご確認できます。



http://www2.kawai.co.jp/ir/setsumei_pdf/2016/20160322_2017chukei.pdf



コーポレート・ガバナンス/コンプライアンス

コーポレート・ガバナンス基本方針を制定 2015.12.24

コーポレート・ガバナンスとは、健全で効率的な会社経営を遂行するため の仕組み「企業統治」です。

当社は「経営の理念」に基づき、持続的な成長と、中長期的な企業価値の 創出に向けて『コーポレート・ガバナンス基本方針』を制定しました。コー ポレート・ガバナンス基本方針は、持続的な企業価値の向上を実現するため に継続的に取り組むことが目的で、コーポレート・ガバナンスに関する基本 的な考え方など、5つの章に定めています。



詳細はWebサイト http://www.kawai.co.jp/company/govenance/20151224_7952_gad.pdf

コンプライアンスの推進

コンプライアンスとは法令等遵守と訳され、社会の法令や会社内の規程などを守っていくことだけでなく、社会規範 を含んだ倫理規範の実践により社会の信頼を得ていく事が必要であると考えられています。

このような事からカワイグループでは全従業員が取り組む、コンプライアンス経営を推進しております。 具体的には法令遵守に加え、 社会的な規範を包含したカワイ倫理規範、倫理行動規準を制定するとともに、外部有識者(弁護士) を加えた企業倫理委員会を設置しております。

また、企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めております。

内部統制システムに関する基本的な考え方

当社では「経営の理念」および「行動指針」を策定し、業務運営の指針としており、併せて中期計画に掲げた目標の達成に向けて、各組織が予め定められた役割に従い、法令や定款に則って効率的に戦略遂行できる体制構築を目指しています。また、法律問題につきましては、分野ごとに 恒常的に複数の法律事務所と顧問契約を締結した上で適法性の確保に努めています。

内部統制システムについては、企業価値向上のためのコーポレート・ガバナンスの一環としてその重要性を認識し、2006年5月12日に 取締役会で決議しました「内部統制システムの構築に関する基本方針」に則り、その確立に取り組んでおります。

反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

反社会的勢力を社会から排除していくことは、治安対策上重要なことであり、企業にとっても社会的責任の観点から必要であり、また、反社会的勢力が従業員を含めた企業自身に多大な被害を生じさせるものであることから、企業防衛の観点からも必要なものであります。 このような観点から、当社は反社会的勢力による被害を防止するため、コンプライアンス体制及び内部統制システムの一環としての体制整備に努めております。

河合会長兼社長のコミットメント

私は新時代にむけて新しいカワイを創生させるため、1996年4月に新しい経営の理念を制定いたしました。

新しい経営の理念の中で『お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します』『新しい時代に向かって企業活動を推進します』と謳っております。

すなわちお客様の満足度を常に考え、カワイブランドに対する信頼の維持を図り、新時代の社会の要請などに沿った企業活動を推進していくというものです。

2002年10月には社員ひとりひとりが企業社会人として、社会的良識をもって行動するための基本となる「カワイ倫理規範」「倫理行動規準」を制定いたしました。カワイグループの企業倫理の遵守を第一に高い倫理観と常識をもって行動し、「社会からの信頼」に応え、カワイブランドに対する信頼を損なわないようにすることが必要であると認識

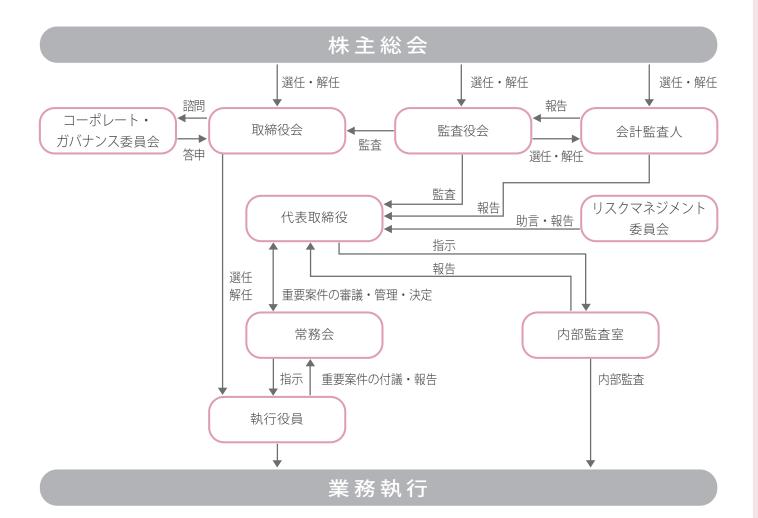
しております。

このようなことを踏まえ、私は、今回ここに業務の遂行にあたり、役員以下 カワイグループ全社員に率先して当社のもつ社会的責任を自覚し、あらゆる場 面において「カワイ倫理規範」を遵守し、「倫理行動規準」の精神に則って行 動することを誓います。 代表取締役会長兼社長





コーポレート・ガバナンス 体制 / 内部統制システム



- ・ 取締役会: 社外取締役を含む取締役で構成
- ・監査役会:社外監査役を含む監査役で構成
- ・コーポレート・ガバナンス委員会:取締役の諮問機関として「コーポレート・ガバナンス委員会」を設置し、取締役候補者の選定に関する事項や、取締役の報酬に関する事項、その他コーポレート・ガバナンスの向上に関し審議し取締役会に答申、報告を行っています。
- ・ 2002 年 4 月より執行役員制度を採用
- ・2005年6月より執行役員制度を改編し、取締役にも執行役員を兼務させる体制とし、全社的課題への対応力の強化を図るとともに、業務執行における責任の明確化および指揮命令系統の充実を図りました。また、社外取締役を選任しており、社外取締役には、客観的

な立場から取締役会における意思決定の妥当性及び取締役会の職務 執行について大局的な視点で助言、監督をいただき、経営の透明性 を高めております。

- ・経営会議体として全社的課題を審議するステアリング・コミッティ、 戦略課題を全社的見地で審議する全社戦略会議等を設置して戦略モニタリング・コントロール機能を確保しています。
- ・内部監査:「内部監査室」を設置し、カワイグループの業務活動全般に関して、業務執行が適法、適正かつ合理的に行われているかどうかを監査するとともに、会社資源の活用状況、法令・社内規程の順守状況についての監査を行っています。



リスク管理体制

当社のリスク管理体制は、業務執行に伴うリスクを未然に防止する ことを第一とし、リスクが顕在化した場合には、社会的、経営的な影 響を最小限にとどめるため、職制により組織的に対応するものから必 要に応じグループ全体を対象とした委員会等を設置するなど、機動的 な対応に努めております。

リスクマネジメント委員会は、カワイグループ全体のリスクへの対応のために、規程類の整備、運用状況の確認、要員の訓練、研修等を企画実行するとともに全社リスク管理状況を定期的に取締役会に報告しております。

傘下に下記分野別の各委員会を設置するとともに、不測の事態が発生した場合には、「緊急対策本部」をただちに設置し、迅速な対応と 損害の拡大の防止にあたるものとしております。

リスクマネジメント委員会

地球環境委員会

カワイグループは1994年に地球環境委員会を設置し、地球環境の保全に積極的に取り組んでいます。地球環境委員会ではカワイ地球環境憲章、カワイ環境方針、グリーン調達ガイドライン、木材調達ガイドライン等を制定。また環境に関する法令の順守はもとより環境保全の目的・目標を定め環境汚染によるリスクの軽減に努めています。

海外安全対策委員会

海外子会社、海外駐在員並びに海外出張者のリスク管理を行っています。

中央防災対策委員会

カワイグループにおける火災、風水害、その他の災害の予防 対策確立及び災害発生時の被害を最小限に止めるための諸活動を 行っています。

中央安全衛生委員会

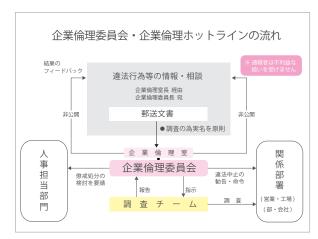
カワイグループの従業員の安全衛生意識の高揚を図り、災害及び疾病を予防するための諸活動を行っています。

情報セキュリティ委員会

情報資産の機密性、完全性、可用性の確保、維持を全社的な立場で統括管理しています。

企業倫理委員会

コンプライアンス経営を推進するため、法令遵守に加え社会的な 規範をも包含したコンプライアンス要綱(カワイ倫理規範、倫理行 動規準を含む)を制定するとともに弁護士等外部有識者を加えた企 業倫理委員会を設置しています。また企業倫理に関する統括部門で ある企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員へ の教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めています。



製品安全対策委員会

万が一、市場に出た当社の製品に安全上の不具合があり、それが原因でお客様の生命身体に危害が及んだり、その可能性があると判断されるときに、お客様への告知、行政機関への報告、製品の回収といった対策を迅速に実行し、お客様への被害を最小限に止める諸活動を行っています。



株主・投資家の皆様とともに

株主・投資家の皆様へのIR活動に取り組んでいます

決算説明会

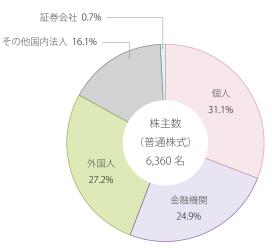
2016年5月26日、東京日本証券アナリスト協会にて、機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催いたしました。連結業績の概要を説明するとともに、2013年4月から2016年3月までの第4次中期経営計画(主要戦略・連結業績・主な成果)を振り返りました。

また、2016年から始まる新中期経営計画(2016年度~2018年度)「Resonate 2018」について説明をし、ご理解をいただきました。

同説明会で使用した資料は、ウェブサイトにて公開しております。



株式の発行状況と所有者別状況 (2016年3月31日現在)



円グラフは保有株式ベースの割合

発行可能株式総数	普通株式	34 百万株
発行済株式総数	普通株式	9 百万株

定時株主総会

2016年6月28日、カワイ本社にて第89期定時株主総会を開催いたします。事業報告においてはプロジェクタとナレーションによる説明を採用し、カワイグループの業績や事業展開についてはグラフや写真を用いて、株主の皆様にとってわかりやすい説明を心がけています。

I R サイトIR: Investor Relations の略。
企業による投資家向けの情報提供などの広報活動。

ステークホルダーの皆様にカワイの経営戦略や財務内容を開示し適切な企業価値へと結びつける活動(IR活動)の手段としてカワイウェブサイトにIRサイトを開設しています。

http://www.kawai.co.jp/ir/



環境社会報告書のウェブサイトによる開示

カワイのウェブサイトのトップページの「CSR」から「環境への取り組み」に進んでいただきますと、過去の環境社会報告書もご覧いただけます。

http://www.kawai.co.jp/csr/





お客様との関係

文化貢献活動

音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指して、また、日本の音楽文化を育てるため、カワイは、さまざまな音楽活動や文化活動を行っています。人々の心に感動の輪を広げたい。カワイの願いは着実に実を結んでいます。

カワイ音楽振興会

カワイ音楽振興会は日本の音楽文化の向上をめざして、1963年に設立されました。「カワイコンサート」の開催をはじめ、海外著名演奏家や音楽教育家の招聘事業、国内一流音楽家のリサイタル・公開講座など多彩な催しを企画実施しています。

また、音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指し、さまざまな音楽活動や文化活動の支援を行なっています。

これからも、"Music for All"の理念のもと、様々な活動を通じてすべての人々に良質な音楽を提供してまいります。

多彩なコンサートや公開講座情報を掲載している「カワイ音楽振興 会サイト」をご参照ください。

http://kawai-kmf.com/



カワイコンサート

1971年に日本中の人々に良い音楽をというポリシーのもとスタートしたカワイコンサートは、発足以来これまでに2230回をこえる公演を全国各地で行ってきました。国際的なピアニストから新進気鋭の若手演奏家まで多彩な演奏家を招いて、皆様に良い音楽との触れ合いを楽しんでいただいています。

このカワイコンサートの過去から直近の情報につきましては、カワイ音楽振興会サイトをご参照ください。



ヨーロッパ・カワイコンサート

1976年設立のカワイドイチュランドGmbHを経て1979年に設立されたカワイヨーロッパGmbHは、欧州におけるカワイの重要な拠点になっています。1990年にデュッセルドルフから北西方向25kmのクレフェルト市に移転して以来、1991年に始まったヨーロッパ・カワイコンサートはクレフェルト市「カンプスホール」で行われています。

これまでに220回以上のコンサートを開催しております。また、著名ピアニストを招聘してピアノマスタークラスを主催するなど、様々な文化事業を行ってきました。浜松市とクレフェルト市との文化交流においても支援を行っております。



ヨーロッパ・カワイコンサート (クレフェルト市 カンプスホール)



カワイ音楽振興会の支援活動

日本ショパン協会への支援

日本ショパン協会は、1960年8月、フレデリック・ショパン生誕150年を記念して設立されました。 初代会長は高折宮次先生で、高折先生と交流のあった河合滋社長(当時)が名誉会長となり、事務局 を河合楽器製作所内に設置して、その活動をスタートしました。

以後年に数回の演奏会や公開講座の例会、1980年以降5年毎のショパン国際ピアノコンクールへの参加者オーディション、2005年以降は5年毎に日本ショパンピアノコンクール、2010年以降毎年ショパン・フェスティバルin 表参道、などを開催。また、1974年以降、年間最も優れたショパン作品を演奏したピアニストに対し「日本ショパン協会賞」を贈呈するなど、ショパンとその芸術の普及のために活発な活動を行っています。

http://chopin-society-japan.com/

クロイツァー記念会への支援

クロイツァー記念会は、ドイツと日本で活躍したレオニード・クロイツァー教授の遺徳をしのぶ門下生および関係者により1962年3月、高折宮次氏を会長に設立されました。日本のピアノ音楽界発展のために尽くすという設立主旨に沿って諸事業を行っています。

1971年より、クロイツァー教授の日本楽界に対する功績を記念して「クロイツァー賞」を制定し、教授が生前教鞭をとった「東京芸術大学」、「国立音楽大学」、及びゆかりの深かった「武蔵野音楽大学」の各大学院ピアノ専攻修了生の中から、特に優れた成績をおさめた人に賞を贈呈しています。

またこの受賞者を対象とした「クロイツァー賞受賞者演奏会」を1976年より毎年開催するほか、ショパン=クロイツァー校訂版楽譜(音楽之友社刊)の出版に協力しております。(現在は、楽譜配信サイト『@ELISE (アット・エリーゼ)』よりダウンロード販売されています。)

http://kawai-kmf.com/kreutzer/

日本・ロシア音楽家協会への支援

1984年、日ソ音楽家協会の名で、当時のソ連作曲家同盟議長のティホン・フレンニコフ氏と初代運営委員長芥川也寸志氏の親交から、両国の音楽作品の交換演奏を中心とする音楽文化交流を目的に発足。その後、ソ連の崩壊により「日本・ロシア音楽家協会」と名称を変更。新生ロシアと旧ソ連邦諸国との新たな交流活動に入りました。ロシアとの文化交流コンサートを開催すると同時に、声楽・器楽のコンサートや公開レッスン、公開講座、シンポジウムなどを開催しています。

http://japan-russia-sfm.net/





日本シマノフスキ協会への支援

日本シマノフスキ協会は、1981年、カロル・シマノフスキ生誕100年を記念して設立されました。

シマノフスキがポーランドを代表する作曲家としてショパンと並び称されるには、いくつかの理由がありますが、最大の理由は、彼の後期の作品がポーランドの山岳地帯の古い形の民謡をもとに傑作を生みだしたことによるものです。ポーランド人の民族性、土俗性が表現された深い味わいがあるシマノフスキ作品を日本国内に広める活動を行っています。オーディション形式のフレッシュ・コンサートや、例会としてコンサートや公開講座等を開催しています。

http://kawai-kmf.com/szymanowski/











人間の本来のあるべき姿、人間的豊かさの育みを第一に考える カワイの教育事業は各種教室事業や教育者育成事業を展開しています

教育事業

personality & harmony



丸い人、三角の人、いろんな人がいるから楽しい。 みんな同じだったら、きっと世の中はつまらない。

> 私らしさを大切にしたいから、 あなたらしさも大切にしたい。

一人ひとりに、それぞれの可能性。丸い人はもっと丸く、三角の人はもっと三角に。

それがカワイ音楽教室。 わたしたちは音楽で個性を伸ばします。

カワイ音楽教室

Personality & harmony カワイ音楽教室

当社が運営するカワイ音楽教室は、音楽文化の普及を目指して1956年(昭和31年)に第1号教室を開設、以来60年にわたり、音楽教育を通じて多数の音楽愛好者を育成し、現在では日本全国に4,500を超える直営の教室を運営しています。レッスンコースは、1歳児を対象とした「クーちゃんランド」に始まり「おとなのミュージックスクール」まで、年齢やレベルに合わせて多彩なコースが設定されています。





カワイ英語教室

personality & harmony カワイ英語教室

カワイ英語教室は、長年にわたる教育現場における経験から独自に開発した「IMA方式」を採用し、音楽やリズム、全身を使ってのゲーム等による、発達した段階にあわせたレッスンや、様々なイベントを通して子どものたくましい想像力や感性を伸ばし、心と体で話せる英会話を習得していきます。子どもの豊かな想像力を刺激し、子ども自身が想像し、推理し、工夫して学んでいくカリキュラムを実践しています。

I M A 方式: I magination

M usic A ction 子供の豊かな想像力 英語の音楽性やリズム 全身を使って英語を表現 カワイ音楽教室では、 「個」そしてその「表現」を大切にします

カワイ音楽教室では、子どもたちの興味の芽を大切にし、素直に 表現する感性を育てるため、音楽教室を中心にさまざまな教育活動 を展開しています。

1956年(昭和31年)の創立以来「音楽を身につける過程で、個々の持つ様々な能力や可能性が見いだされ、発揮されること」「音楽を学ぶことでこそ得られる人格的なふくよかさや、奥深く幅広い豊かな人格形成を求めること」「技術的な進歩だけに偏らない、真に芸術的な感性と人間的魅力に溢れた新しい日本の文化人を育成すること」等を中心的目標として掲げ、日本中に音楽芸術を愛好する多くの豊かな人々を育ててまいりました。

近年では、東南アジアを中心とした新興国に対して、ピアノ音楽 文化の普及を図るべく、直営教室や各地の代理店を通じた音楽教室 の展開を図っています。

カワイミュージックスクール

Personality & harmony KAWAI MUSIC SCHOOL

中高年の人々の生涯学習や余暇活動に対する関心が年々高まっています。カワイでは、こうした社会ニーズに対応し、ピアノ、フルート、バイオリン、ドラム、ボーカルなど、40種以上に及ぶ大人のための音

楽教室を運営しています。 いずれも自分の好きな曲を その人のレベルに合った内 容で受講でき、またレッス ンの回数や形式が選択でき るなど、個性に合ったレッ スンが受けられることか ら、多くの受講者を集めて います。



カワイ絵画造形教室

Personality & harmony カワイ絵画造形教室

カワイ絵画造形教室は、豊富な素材をふんだんに使ったさまざまな造形表現活動を通して、子どもたちが創造力や人間らしい心を育みながら「生きる力」を身につけていくことを目指しています。

「あそび」ながら「創造」する力、表現力が身につきます。

♪絵画造形教室の特長: 一人ひとりの発達

一人ひとりの発達 描きたくなる環境

「先生、あのね」の気持ち



長期的な安定成長を目指すための教育戦略

国内市場における高付加価値戦略

充実したカリキュラムと優れた指導によるピアノ生徒の拡大

国内では、営業体制を刷新し、教室・販売・アフターサービスを一体化した地域ユニット体制による営業活動を展開するとともに、中核都市への店舗戦略として大宮・横浜・広島の直営店舗をそれぞれ移転・リニューアルしました。

教育関連事業は、重点戦略であるピアノコースの拡大や、教室の新設、運営効率の改善など収益性を重視した活動をいたします。



学研教室とカワイ音楽教室・体育教室による新しい教室価値の創造

少子化や教育ニーズの中で、カワイは学研グループの各種教室事業の運営ノウハウ、教材・教育サービスの開発・販売力を提供し合い、より効率的かつ積極的な経営戦略を展開するために、カワイは学研グループとの間で、2015年(平成27年)2月末に「業務提携」を締結し、また2015年(平成27年)7月末に「資本提携」を締結しました。

それぞれの企業価値向上を図り、国内外を問わず教育サービス業界のさらなる発展と成長をして参ります。

「カワイ音楽教育システム」のフランチャイズ展開(シナジー効果)

KAWAI





音楽を楽しむことで、より高く、深く 多彩に表現するための心、技術を育む 自ら興味や関心をもち、 意欲的に学ぶ「真の学力」を育む

海外市場におけるエリア戦略

中国市場や新興国での音楽教育普及に向けた指導者の育成

海外においては、好調なデジタルピアノのさらなる拡販に取り組むとともに、新興国におけるピアノの普及価格帯モデルの販売拡大などの施策を進めてまいります。重要市場である中国においては、楽器販売・調律・音楽教育など事業の構築・拡大を統括する子会社を2016年(平成28年)5月に設立をいたしました。

インドネシアなど新興国でのフランチャイズ方式による生徒拡大

学研グループとの協業による音楽教室の拡大と体育教室の海外展開

東南アジアの国々でも、学研との業務提携を生かした教室事業の価値向上、グローバル事業展開を中心に進めてまいります。











心とからだのハーモニーをモットーに全年齢層の健康づくりをサポートします

カワイ健康づくりシステム

少子高齢化・人口減少時代を迎え、健康づくりの重要性はますます高まっています。カワイ体育教室開設以来49 年のキャリアを持つカワイならではのノウハウを生かし子どもから、大人、高齢者までそれぞれのステージに合わせた健康づくりをサポートしています。

【カワイ健康づくりシステム】



【カワイ体育教室が重要視する3つの要素】



【カワイ体育教室活動の様子】



上のQRコード又は下記URLから で覧いただけます。

http://kawaihealth.jp/sports/qr/

体育コース

子どもの遊びは、からだの面、こころの面、知的な面を育てるために大切なものです。しかし近年、遊びの中で知恵を出し合ったり、感情をぶつけ合う機会が減少していると言われます。カワイ体育教室はこのような子どもたちが、のびのびとからだを動かして遊ぶための環境づくりをサポートいたします。





スポーツコース

器械体操・新体操・サッカーなどスポーツの基礎を身につけるコースです。技術だけではなく、ルールを学び、人とのコミュニケーションを学べるコースで一人ひとりの能力や、からだの発達と発育を考慮した指導を行っています。





カワイネットシステム

ネットパル

体育教室と家庭をモバイルを使っ てリアルタイムに結び「危機管理体制の充実」「運動の習慣化(生徒の日常の運動をサポート)」「家族の健康づくり」を実現します。

	カワイ体育教室	
	G ハワ1 14 育教至	
	ホームレッスン	
874 C/201-Val	MILOUS .	
ホームレッスン	MAY TELE	
289-24-492	こんであせ、ですと意味さん。 今日もかんはかはしょうか	
開発をおって	報報するのけ 4月29日(故) 王	
(0.0194)	立一ルへ開告	
(B)((-1)	(放送をよりの7月年) 今日から際人・運動集をおかけまじまりです!	
and the same of th	89100	
300000	●ボールは3みとび 中ボールを第3は3み、3ヶ高学とびで進みます。	
2-6291-20 93	中で、小を開いまたが、から見ることで思かます。 思これは日後作品の理能で、「政策から行こことを動かす」に分解されます。 同	

介護予防事業の支援

厚生労働省の指針に沿って運動器の機能向上を支援します。介護予防運動指導員養成セミナーを行い、指導者の育成を行っています。介護保険法の改訂により多くの市町村で地域支援事業として介護予防への取り組みが強化されています。カワイは1次予防や2次予防を対象とした介護予防事業の支援をいたします。

モバイルヘルスアップツール

携帯電話やパソコンの「双方向性機能」「情報処理機能」を使ってウォーキングや健康管理をサポートします。日常の健康づくりを支援しメタボリックシンドロームの改善に最適です。



カワイの認知症予防プログラム ~ 運動・音楽・脳げんき ~





スポーツコミュニティ

カワイ体育教室はトップアスリートと交流する場を提供する「スポーツコミュニティ」を展開しています。カワイ体育教室では、全年齢の健康を考える『総合健康産業』として、子どもから大人・高齢者までさまざまなステージでの健康づくりに関わっています。これまでは、カワイ体育教室に参加する生徒を対象とした活動が中心でしたが、今後は多くの子どもたちにトップアスリートの生の声や演技を伝えることで運動への興味関心とスポーツへの参加意欲を高め、運動習慣を獲得して生涯スポーツへとつなげる活動を展開していきます。将来的には、公的な施設等にも活動の場を広げ、より多くの子どもたちがトップアスリートと接する機会がもてるよう展開していきます。





カワイ体育教室 スタッフ紹介

チーフアドバイザー 水鳥 寿思 さん

2004 年アテネオリンピック体操男子団体総合金メダリストで、2012 年 5 月に現役を引退し、カワイ体育教室のチーフアドバイザーに就任しました。各地区での講話や実技披露など、運動の楽しさを広めるとともに、幼児・児童の体力強化や大人の健康増進に向けた運動プログラムの監修にもあたっています。



新体操クラス チーフインストラクター 川本 ゆかり さん

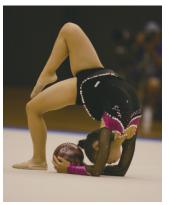
1992 年バルセロナオリンピック出場。 2009 年よりカワイ体育教室の新体操クラスのチーフインストラクターとして、カリキュラム開発や指導者の育成を担当しています。スポーツコミュニティも担当しています。



カワイカップ

器械体操・新体操・サッカーの全国大会です。年に一度全国の仲間とコミュニケーションを図り、楽しくしかし真剣に子どもたちが自分の実力を試す場となっています。









コミュニケーション

地域社会の発展と環境の向上に役立つ活動を積極的に推進しています

地域社会との共生

工場見学の受け入れ

<竜洋工場>

竜洋工場では、カワイピアノに親しんでいただくために、地域の小中学生・高校性・ 大学生その他多くの方々の見学を受け入れています。グランドピアノ組立からピアノが 完成するまでの仕上工程をご覧いただくことができます。

2015年度の見学者数は2,498名でした。見学後、小学生をはじめたくさんのお礼のお手 紙をいただきました。「真剣な顔の職人さんを見て、これからも家のピアノをきれいに使 いたいなぁと思いました。」「1台のピアノができるまでに何人もの職人の手作業があると 知って感動しました。」など嬉しい感想もいただいています。

年末に行われた浜松国際ピアノコンクール期間中は、国内外のピアニストの方々にも ご見学いただきました。

TEL.0538-66-5111 FAX.0538-66-5919



見学者から届いたお手紙(竜洋工場)

<(株)カワイハイパーウッド>

カワイハイパーウッドでは近隣の中学の生徒さんが工場見学を行いました。

車の部品製造工程や塗装工程の見学会・体験会を通して「仕事の大変さ、お金を稼ぐ ことの大変さがわかり、両親に感謝したい」という感想をいただきました。さらに、今 後の生活に大きな影響を与えてくれる素晴らしい機会であったという嬉しい感想も寄せ られました。





近隣中学生の工場見学会・体験会

エコキャップ運動

2008年よりエコキャップ収集活動を行っています。当初はポリオワクチン等 の提供に貢献して参りましたが、2015年度からは収集したペットボトルキャッ プを「社会福祉法人天竜厚生会様」および「社会福祉法人介護老人施設なごみ 様」へ持ち込み、キャップの分別、異物・シール除去作業、粉砕作業等による 障がい者の方の自立のお手伝いに取り組んでいます。また、キャップの再生プ ラスティック化によるCO₂の削減に貢献しています。2015年度は172.8kgのペッ トボトルキャップを回収しました。これは、544kgのCO2の削減に相当します。 (本社総務人事部総務課)



CO。吸収量*

または



* 出典:林野庁「身近な二酸化炭素排出量と森林 (スギ人工林)の二酸化炭素吸収量」



キャップ分別、シール除去作業 社会福祉法人天竜厚生会様

環境美化・保全活動

地域社会とのつながりを大切にしたいと考え、環境方針に基づいた環境活動として敷 地内のみならず、事務所周辺の主要道路の清掃活動などを通じて地域の美化・環境保全 に積極的に取組んでいます。



本計



竜洋工場



河合楽器 (中国:寧波)



工場団地内清掃活動 カワイ精密金属 松本工場



羽咋市海岸清掃活動 カワイキャスティング

平成28年4月2日(土)新入社員研修中の休日





各サイトそれぞれにおいて、地域社会へ参画しています

地域社会との交流

PT.カワイインドネシア

従業員のコミュニケーション

カラワン工業団地(呼称:KIIC)のスポーツ大会に従業員が多数参加し、2015年度は総合準優勝でした。





バレーボール女子・卓球は優勝





ファミリーデイ

多数の従業員と家族が参加し、ゲーム大会・綱引き・水遊び等で楽しい一日を過ごしました。会社全体が家族のように感じました。よりいっそうコミュニケーションが深まりました。

河合楽器(寧波)有限公司





全員の親睦を深める為、綱引き大会を実施し、各組より代表者が選ばれ力を合わせてトーナメント方式で勝ち抜き戦を行いました。家族の応援もできます。また、クイズ大会では当社製品に関するクイズや体を使ったゲームでコミュニケーションを図りました。

その他には、寧波近郊の象山の映画村に新馬奥旅行をしました。

女性活躍推進法が施行されました

第189回国会において「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(以下:女性活躍推進法)」が可決成立し、平成28年4月1日から施行されています。女性活躍推進法とは、女性が職業を通じて個性や能力を発揮し活躍できるよう推進し、急速な少子高齢化や社会経済情勢の変化に対応できる社会を実現することを目的として制定された法律で、労働者301人以上の事業者は、女性の活躍推進に向けた行動計画を策定し、それを労働局に届け出ました。さらに、厚生労働省の特設ページ「女性の活躍推進企業データベース」で社外にも公表しています。

当社は次の項目について重点的に取組みます。

- 1) 管理職に占める女性割合を向上させます。
- 2) 監督職に占める女性割合を向上させます。
- 3) 女性の育児休業取得率を向上させます。





(株)カワイハイパーウッド

カワイハイパーウッドでは、毎年、地元住民の皆様と社員との "ふれあい"を目的として、ふれあいコンサートを開催しています。 例年は工場内の特設会場で行っていましたが、今回は記念すべき 10回目のコンサートということで、平成27年11月14日(土)に浜北文化センターで開催しました。第1部は仲田みずほさんによるピアノ演奏で留学時代のスペインのお話を織り交ぜた楽しく素敵な演奏に魅了されました。第2部は川口直久さんによるピアノ、ギター、電子ピアノを使った弾き語りでした。世代を超えて楽しむことができ、素敵な時間を過ごしました。第3部は恒例の中郡中学校吹奏楽部の皆さんによる元気あふれる一生懸命な演奏に感動しました。

当日は近隣の皆様はじめカワイグループOBの方々 240名に来場いただきました。東日本大震災による東北復興支援植樹のための募金には温かい心遣いをいただきました。皆様からお預かりした善意の寄付金はカワイの森育成会を通して5月14日の宮城県東松島市での「カワイの森」の植樹に活用させていただきました。



(株)カワイキャスティング 2015.12.4/石川県羽咋市

第2回カワイキャスティング社内コンサートが開催されました。2012年にカワイグループとなったカワイキャスティングは、ピアノフレーム用鋳物などの素材加工をしています。本社から提供されたグランドピアノGX-1による自前のコンサートで、金沢ショップ音教講師の竹中先生と安藤先生がオール連弾プログラムを演奏しました。日頃から連弾で演奏活動を行っている先生は、腕が交差するキャトルマンスタイルも披露されました。4手により紡ぎ出される音の迫力に圧倒された夕べとなりました。今後も新たな企画で第3回のコンサートを開催していく予定です。





お客様に愛され、親しまれるカワイを目指して

情報発信

CS(顧客満足)への取り組み

〈お客様相談室〉

楽器購入前のご相談、購入後の楽器のご使用方法に関するご相談等、お客様から寄せられる様々なご質問に誠実で迅速な対応を 行うべく、お客様相談室で受付を行っております。音楽を愛する専門スタッフが皆様にとってかけがえのないパートナーを目指し てサービスに努めております。

お客様相談室 TEL: 053-457-1311

受付時間:月曜日から金曜日までの9:00~12:00、13:00~17:00

〈お客様サポートサイト〉

カワイお客様サポートサイトでは、ピアノの修理や調律、各種製品の修理、関連楽譜の購入などのアフターサービス、カタログや取扱い説明書、プログラム更新等の各種データのダウンロード、カワイピアノ、デジタルピアノ等のカタログ請求や試弾のご予約、見積依頼のためのサポートサイトをホームページ上に設けてサービスに努めております。

http://www.kawai.jp/support/



アフターサービスの実施

「ピアノは生きています」というと驚かれるでしょうが、ピアノには木材・羊毛・皮革など多くの天然素材が使われています。

これらの材料はとても敏感で、温度や湿度の影響をまともに受けてしまうのです。ピアノの大部分を占める木材やハンマーのフェルトは常に呼吸をしている、まさに"生命体"であり、ピアノは大変デリケートなメカニズムを持つ楽器でもあります。そこで私達が健康管理をするようにピアノにも"調律"という名のメディカルチェックが必要なのです。カワイの調律師たちは厳しい訓練を受けた技術者で、ピアノの主治医として、ピアノを常にベストコンディションに保つためのケアをしています。

世界有数のアフターサービス網

約200名の調律師が直営ネットワーク(日本全国108拠点)に配置され、全国津々浦々のお客様の大切なピアノのアフターサービスに従事しています。全てカワイの社員です。入社後も、数々の技術研修制度により技術の研鑚に努め、お客様のご希望にお応えします。さらに、コンサート会場でのピアノ調律を担当するMPA*は、国内外のコンクールやコンサートの場面でアーティストのハイレベルなご要望にもお応えしております。

* MPA: Master Piano Artisan (マスターピアノアーティザン:社内資格)

(調律担当部門) 国内統括部 調律推進課 TEL: 053-457-1256



ピアノメンテナンスを通じた社会貢献

カワイは、ピアノの調律の啓発や技術の向上を目的とした団体である(一社)日本ピアノ調律師協会(通称ニッピ)の主旨に賛同し、その活動に協力しています。

日本ピアノ調律師協会は、ピアノを国民の芸術的財産として位置づけ、その運営管理を行なうことにより社会道徳的要請に応えるべく、会員資質の向上、調律技術者の社会的信用の維持向上に取り組んでいます。カワイでは調律技術者のほとんどがニッピの会員です。

資料編



環境負荷サイト別一覧

采先其间 7 1 1 加 克				参考		基準年					
				1990	2011	2012	2013	2014	2015	基準年比	
一	Π.	電気	GJ	101,341	56,822	58,667	58,564	57,599	59,759	1.9%	
\$□ ₩□±	N P	燃料	GJ	28,253	17,354	17,220	16,047	18,352	14,345	-16.7%	
静岡県磐田市	U	水	千㎡	3,330	38.5	37.0	38.0	33.5	35.8	-3.3%	
(旧舞阪工場を含む)	Т	化学物質	ton		35.7	39.0	34.4	32.8	38.9	-0.3%	
	0	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	7,632	3,819	3,894	3,806	3,590	3,551	-8.8%	
事業内容:ピアノ製造	I T	化学物質	ton	0	6.6	8.8	5.4	5.1	6.3	-28.6%	
敷地面積:168,218㎡	P Y	廃棄物 焼却・埋立	ton	437.3	24.7	7.8	9.2	6.3	0.2	-98.0%	
		廃棄物 再資源化	ton	102	810.7	730.6	767.0	697.9	767.8	5.1%	
		電気	GJ	14,787	15,822	16,306	15,674	14,759	15,799	-3.1%	
(株)カワイハイパーウッド	N P	燃料	GJ	11	4,652	4,548	3,319	3,584	3,636	-20.1%	
静岡県浜松市東区中郡町	Ψ	水	∓m³	28.6	5.8	6.6	6.2	4.4	4.3	-34.5%	
		化学物質	ton		20.7	24.3	22.0	20.3	20.0	-17.8%	
	0	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	1,250	1,052	1,066	950	927	979	-8.2%	
事業内容:自動車内装部品製造	Ψ̈́	化学物質	ton		0.6	0.8	0.7	0.6	0.6	-22.6%	
敷地面積:15,074㎡	P U	廃棄物 焼却・埋立	ton	218.2	55.1	0.2	0.0	0.0	0.0	-100.0%	
	'	廃棄物 再資源化	ton	32.3	57.8	144.1	127.1	119.7	131.4	-8.8%	
	Τ,	電気	GJ	3,914	847	908	1,143	1,203	1,117	23.0%	
メルヘン楽器(株)	N P	燃料	GJ	74.7	1.2	0.8	0.9	0.9	0.7	-12.5%	
静岡県周智郡森町	U	水	∓m³	0.6	0.8	0.7	1.0	1.0	0.8	10.2%	
is to store in printers	Т	化学物質	ton								
	O U	I T	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	223	39	41	52	55	51	23.0%
事業内容:電子楽器製造			化学物質	ton							
敷地面積:11,583㎡	P	廃棄物 焼却・埋立	ton	7.3	1.6	1.0	0.4	0.8	0.0	-96.7%	
	Т	廃棄物 再資源化	ton	0	11.2	2.0	4.3	1.9	3.5	76.4%	
		電気	GJ		955	943	990	958	969	2.7%	
(株)カワイ音響システム	I N	燃料	GJ	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
************************************	P	水	千㎡	1 1	0.0	0.0	0,2	0.1	0.1		
静岡県浜松市東区篠ケ瀬町	Ť	化学物質	ton	2008年							
		CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	上八位体	44	43	45	44	44	2.7%	
事業内容:防音室・音響部材の製造	Q V	化学物質	ton	より稼働							
敷地面積:2,972㎡	P	廃棄物 焼却・埋立	ton		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
30. Carlo - 2,27 2111	Ť	廃棄物 再資源化	ton		2.8	3.1	4.6	7.6	7.3	72.2%	
		電気	GJ		34,651	35,556	44,160	53,432	57,647	62.1%	
カワイ精密金属(株)浜松工場	I N	燃料	GJ	1 1	8.7	7.4	7.1	17.8	21.1	184.5%	
ね回用に払うしてがあり	P	水	千㎡	1 1	20.0	22.1	26.0	27.1	24.0	8.9%	
静岡県浜松市北区新都田	T	化学物質	ton	1994年	14.4	11.1	14.2	14.4	1.8	-83.8%	
		CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	・ より稼働	1,582	1,623	2,016	2,440	2,632	62.2%	
事業内容:金属部品製造	Q V	化学物質	ton	. O フ (水田)	12.6	9.0	13.0	8.1	0.0	-100.0%	
敷地面積:26,817㎡	PU	廃棄物 焼却・埋立	ton	1	20.0	21.2	23.2	30.8	1.4	-93.2%	
754 Steel 154 Sept. 11.	Т	廃棄物 再資源化	ton		19.7	19.3	35.2	28.8	56.7	193.5%	
		電気	GJ	57,070	34,959	30,391	34,838	42,514	42,985	41.4%	
カワイ精密金属㈱松本工場	I	燃料	GJ	7,132	4,576	4,009	4,791	5,270	4,109	2.5%	
Emziel (A. L	N P U	水	千㎡	42.1	84.2	81.7	92.4	95.2	73.3	-10.3%	
長野県松本市	Ť	化学物質	ton		40.8	30.3	32.8	36.3	31.8	5.0%	
		CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	3,674	1,919	1,671	1,909	2,313	2,252	34.8%	
事業内容:金属部品製造	O U	化学物質	ton	· ·	29.4	20.1	25.0	27.9	23.7	17.9%	
敷地面積:14,612㎡	P	廃棄物 焼却・埋立	ton		13.8	9.2	12.3	13.5	1.6	-82.4%	
5人心凹(項 · 14,012111	Ť	廃棄物 再資源化	ton	61.4	71.7	53.9	14.8	16.2	11.7	-78.3%	
		電気	GJ		8,960	8,989	7,189	5,864	5,651	-37.1%	
本社	I	燃料	GJ		597	546	641	564	343	-37.1%	
	N P U	水	1 fm²		5.1	4.4	4.4	4.5	4.1	-37.3%	
静岡県浜松市中区寺島町	Ť	化学物質	ton		ا.۱	7.4	7.4	4.3	7.1	7.770	
		CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		450	448	374	307	282	-37.1%	
事業内容:本社機能、研究開発	0 U	化学物質	ton		130	110	3, т	307	202	37.170	
#b+b+元4+・7.7043	I T	廃棄物 焼却・埋立	ton		10.9	11.6	12.2	4.2	4.4	-62.3%	
敷地面積:6,784㎡	무	廃棄物 再資源化	ton		14.7	14.0	20.9	28.6	22.9	63.8%	
I					1 1.7	1 1.0	20.7	20.0	22.7	03.070	



第三者意見



東京工業大学 大学院 教授中崎 清彦 先生

カワイグループは、来年創業90周年を迎えるが、本環境社会報告書は100年ブランドとして、さらに企業価値向上を推進し、長期的な安定成長の実現を目指すための取り組みが伝わるものとなっている。なお、100年ブランドのための新中期経営計画「Resonate 2018」が策定されているが、その詳細はWEBにも公開されている。

品質に関しては、昨年の第9回浜松国際ピアノコンクールにおいて、第1位を獲得したアレクサンデル・ガジェヴ氏をはじめとして24名もの多くのピアニストがカワイフルコンサートピアノSK-EXを演奏したこと、また、デジタルピアノのCA97、CA67が米国の楽器販売店の投票により選ばれる賞である、Music Inc 2015 "Product Excellence Award"を受賞したことなどからも、その品質が高く評価されていることがわかる。

CSR活動においては、音楽を通じた社会貢献として東日本大震災被災地の復興支援のためにチャリティーコンサートを継続的に開催している。また、2007年の創業80周年の記念事業の一つとしてインドネシアにおいてスタートした「カワイの森」の植林活動を継続し、2015年までに400ha、40万本余の植林を達成している。この植林によって年間6,200トンのCO₂吸収効果が見込め、竜洋工場における生産活動にともなって発生するCO₂の約1.6倍の量にあたるCO₂を吸収できるとしている。よいことはそれを継続するだけでも大きな価値があるが、報告書には、それをさらに進化させた取り組みが紹介されている。林野庁の『みどりのきずな』再生プロジェクトに参画し、ピアノメーカー、カワイ音楽教室と体育教室、カワイの森育成会が一体となって被災地の支援活動に取り組むユニークな社会貢献活動を展開したこと、また、浜松市沿岸の防潮堤整備への協力もおこなっている。現状にとどまることなく常に前進のための方策が工夫されている。

この他に社会性報告としては2015年6月に制定された「コーポレートガバナンス・コード」に基づいた、健全で効率的な会社経営を遂行するための仕組みである「企業統治」の取り組み方針が説明されている。さらに、環境活動については、原単位基準のCO₂排出量、エネルギー使用量、産廃排出量の目標が適正に達成されたことが示されている。加えて、これまで進めてきたカワイの教育事業についても学研との業務提携を機にさらに大きな展開が期待されること、女性活躍推進法の施行に対しても適正に対応していることが見て取れる。

本報告書は、100年ブランドに向けての真摯な取り組みがまとめられている。カワイグループが100年ブランドとしてさらなる成長を遂げることを期待している。

第三者意見を受けて

昨年度に続き、東京工業大学大学院教授 中崎清彦先生より専門家としてのお立場から広い視野に立った第三者意見を賜ることができました。厚く御礼申し上げます。

その中で、第9回浜松国際ピアノコンクールで第1位入賞者をはじめ多くの方々にカワイフルコンサートピアノ SK-EX を演奏して頂いたことやカワイデジタルピアノが米国の Music Inc 2015 で賞を獲得したことをカワイの品質としてご評価頂いたことは大いに励みになるお言葉として受け止めております。

また、チャリティーコンサートやカワイの森育成会の活動による被災地の支援活動やインドネシアの植林などの楽器メーカならではの CSR 活動をご高評いただけたことは大変喜ばしく、これからも取組みを継続してまいりたいと考えます。さらに、事業を通じた CO₂ などの環境負荷の低減につきましても、目標を掲げて努力を続けてまいります。

今後も事業活動における地球環境の保全活動、文化貢献活動を通じて「カワイブランド」の価値の向上と持続可能な社会の実現に寄与できるよう継続的に PDCA サイクル(Plan・Do・Check・Action)を廻して CSR 活動の推進を図るとともに、カワイグループの取組みについて皆様へ分りやすい情報の開示に務めてまいります。

(カワイ地球環境委員会 事務局)

最後までお読みいただきましてありがとうございました。今後の参考とさせていただきますので、 下記アンケートにご記入の上、恐れ入りますが、この頁をFAXまたは郵送して頂ければ幸いです。

カワイ 環境社会報告書 2016 へのご意見・ご感想

該当項目の□にチェックをお願いします。

Q1	環境社会報告書をどのようなお立場でお	読みになられました	か?					
	□ 投資家・株主として	□ 河合楽器と取引	関係にある	□ カワイグループの従業員・家族				
	□ 政府·行政機関	□ 環境NGO·NPC)として	□報道機関				
	□企業の環境担当者	□学生		□ 環境専門家·教育者·研究者				
	□事業所近隣の方	□ 製品のユーザー	_	□ その他 ()				
Q2	環境社会報告書を何でお知りになりまし	たか?						
	□ ウェブサイト(カワイ・カワイ以外)	□ 環境セミナー等	手で	□ 新聞·雑誌				
	□ 営業マン・教室・先生から	□その他()					
Q3	この環境社会報告書をお読みになってど	のようにお感じにな	りましたか?					
	報告書のわかりやすさ	□よくわかる	□普通	□わかりにくい				
	・内容	□充実	□普通	□ 物足りない				
	情報量	□ 多すぎる	□ 適切	□ 不足である				
04	興味をもたれた記事、印象に残った項目	_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
-	○企業概要		◎社会性報告					
	□表紙		□ 新中期経営記	十画				
	□ 編集方針		□ コーポレー	ト・ガバナンス/コンプライアンス				
	□ トップメッセージ		□ コーポレート	ト・ガバナンス 体制/内部統制システム				
	□ カワイグループの事業と会社の概要	要	□リスク管理体	本制				
	□経営の理念・行動指針		□株主・投資家	家の皆様とともに				
	□ カワイグループのあゆみ		□ お客様との関	関係				
	□音楽を通じた支援活動		□ 文化貢献活動					
	◎ 環境報告		□ 教育事業					
	□ カワイの環境への取り組み			東づくりシステム				
	□地球環境憲章・環境方針・環境技	性進組織	□ スポーツコ					
	□環境経営		□ コミュニケ-					
	□ 2015年度の環境目標と実績		□ 地域社会 &					
	□ 事業活動に伴う環境配慮		□地域社会と	との父流				
	□地球温暖化の防止		□ 情報発信					
	□ 製品の環境負荷(LCA)		◎資料編					
	□ 廃棄物削減・再資源化		□ 環境負荷サイ	イト別一覧				
	□ グリーン調達		□第三者意見	- 1				
	□環境配慮型製品		□アンケートの	りお願い				
	□ファインアイボリー白鍵、ファイン	エボニー黒鍵						
	□ 省電力型デジタルピアノ							
	□ 環境パフォーマンス							
	□ マテリアルバランス							
Q 5	環境社会報告書の内容についてのご意見	や、改善するための	ご提言をいただけれ	ば幸いです。				

で協力ありがとうございました。差し支えなければ下欄にご記入願います。(個人情報に関しましては、ご本人の承諾がない限り第三者に開示することは一切ございません)

	ふりがな	Ţ.					
お名前							
					男・女	年齢	歳
ご住所	〒	_					
(勤務先・ご自宅)							
ご連絡先	TEL			FAX			
こ理裕元	E-mail						
ご職業							
(勤務先・部署・役職名)							



株式会社河合楽器製作所

お問合せ先

カワイ地球環境委員会

事務局:総務人事部 C S 環境室

〒 430-8665 静岡県浜松市中区寺島町 200 番地 TEL: 053-457-1252 FAX: 053-457-1300

URL:http://www.kawai.co.jp



